

ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO

- 3月号 ① **クラブマネジャー養成講習会実施報告**
TOPIX ② **スポーツクラブサミット実施報告**
生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2018 参加報告
③ **クラブ巡回訪問報告**
④ **平成29年度SG全国ネットワーク総会参加報告**

ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO ECO-SPO

クラブマネジャー養成講習会 実施報告

平成30年1月27日(土)～28日(日) **愛媛県総合運動公園 第3会議室**

今年度も上記の日程で、クラブマネジャー養成講習会を実施いたしました。2日間の講習を受け、その後の検定試験に合格すると、(公財)日本体育協会公認アシスタントマネジャー養成コース専門科目修了者として認められます。共通科目の修得と合わせることで、(公財)日本体育協会公認アシスタントマネジャーの資格を取得することができます。



今回は、県内外より10名の受講者が集まり、2日間で合計14時間の講習と検定試験を受けました。

【1日目】

- ①「地域スポーツクラブとは」(3時間)
- ②「クラブのつくり方、運営」(4時間)

【2日目】

- ③「クラブマネジャーの役割」(3時間)
- ④「クラブのつくり方、運営」(4時間)
- ⑤検定試験(1時間)



長時間の講習になりましたが、県内のクラブで活躍されているクラブマネジャー(ONOSポーツクラブ篠原昌也さん、NPO法人おおずスポーツクラブ谷本稔さん)を講師に迎え、経験に基づいた具体的な事例を聞くこともでき、とても充実した講習会となりました。新しい有資格者がそれぞれの地域で活躍されることを願うとともに、今後多くの方がクラブ運営に関心を持ち、資格取得に挑戦されることを期待しています。

スポーツクラブサミット 実施報告

平成30年2月4日（日）、愛媛県総合運動公園ニンジニアスタジアム第3会議室において、総合型地域スポーツクラブサミットを開催しました。

今年度は、大阪体育大学教育学部より曾根裕二先生を講師にお招きし、「総合型クラブで活かすアダプテッドスポーツ」というテーマで講演をしていただきました。障がいのある方々と一緒に活動するとき、私たちはどうしても「できないこと」に目を向け、結果として様々なことを制限してしまいがちです。しかし、「アダプテッドスポーツ」の考え方は、プレーする人に合わせてルールや道具を適合させるという前向きなものなのです。曾根先生が「障がいがあっても、できることに焦点を当てて積極的に活動を進めていくことが大切です。」と仰っていたことが非常に印象的でした。

研究協議では、障がい者を対象とした教室やイベントを実施する際の注意点やルールの実用的な変更例など、曾根先生と参加者との活発な情報交換が行われました。

今後の総合型クラブには、今まで以上に障がい者スポーツの取組が求められるようになります。本日の講演は、障がい者スポーツに対する理解をさらに深めるための良いきっかけとなりました。



生涯スポーツ・体力づくり全国会議 参加報告

平成30年2月2日（金）、広島県広島市で行われた「生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2018」に参加させていただきました。午前中に行われた全体会（シンポジウム）では、『ライフステージに応じたスポーツ活動の推進～スポーツ立国の実現に向けて～』というテーマで、それぞれの世代に応じたスポーツ振興の取組について発表がありました。幼児期から高齢者までのそれぞれの世代に、どのようなスポーツが提供できるかといったことや、働く世代にいかに関与に参加してもらおうかといった点で非常に参考になりました。午後からは、分科会が行われました。分科会の内容は以下の通りです。

- 第1分科会「スポーツを通じた社会の発展や課題解決を考える」
- 第2分科会「全ての国民が生活の中でスポーツを豊かに楽しむための指導とは」
- 第3分科会「第2期スポーツ基本計画とスポーツ推進委員」
- 第4分科会「障がい者の運動・スポーツ環境を支える」

参加した第3分科会で印象深かったのは、谷畑英吾氏（滋賀県湖南市長）の発表でした。湖南市のスポーツ現状を的確に捉え、行政、体育協会、総合型地域スポーツクラブ等が一致団結した取組を行っている様子を発表していただきました。総合型地域スポーツクラブの継続・発展のためには、各関係団体との良好な関係を維持していくことが重要だと改めて感じました。今回の研修で得た情報を、県下のクラブ運営のお手伝いに生かしていければと思っています。

クラブ巡回訪問報告

平成30年 新春サイクリング大会

総合型しまなみスポーツクラブ

1月21日（日）に行われた、総合型しまなみスポーツクラブ主催の「平成30年度新春サイクリング大会」に参加しました。

この大会は、参加者が自慢のロードバイクにまたがり、今治市内の由緒ある7神社（別宮大山祇神社、姫坂神社、大須伎神社、大野神社、伊加奈志神社、多伎神社、樟本神社）を回るイベントとして毎年開催されています。自転車愛好家のみならず、新春参賀の心持ちで参加されている常連の方々もたくさんおられ、皆さん毎年楽しみにしていると仰っていました。大人数で一般道路を移動するため、総合型しまなみスポーツクラブや今治サイクリング協会の方々が進行方向の指示を出したり、交通整理をしたりと、参加者への注意喚起を行いながら周囲の安全を常に確保されていました。

途中、手作りのお雑煮をお腹一杯いただき、心も体も十分に満たされた最高の一日となりました。

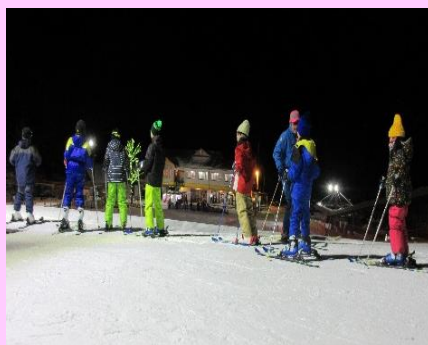


スキー・スノーボード教室

久万スピリッツクラブ

1月31日（水）に久万スキーランドで、久万スピリッツクラブ主催のスキー・スノーボード教室がありました。気温は-3℃という非常に寒い中でしたが、たくさんの方が参加して、スキーやスノーボードを楽しみました。始めにスキーやスノーボードを使った準備運動を行い、滑るときの姿勢・こけ方・手の付き方などを練習しました。今回が4回目の教室ということもあって、全員が上手にターンを決め、直滑降をしたり、ジャンプに挑戦したりする子もいました。久万スピリッツクラブでは、毎年、1月から2月にスキー・スノーボード教室を開催しています！！

興味のある方は、ぜひ参加されてみてはいかがでしょうか？



どうなる？ 総合型地域スポーツクラブの登録制度！

去る2月26日（月）に東京都渋谷区で開催された「平成29年度SC全国ネットワーク総会」にオブザーバーとして参加しました。その際に標記の件について、事務局より「日本体育協会スポーツ推進方策2018」や、「総合型地域スポーツクラブ育成プラン 2018～地域住民が主体的に参画するスポーツ環境の構築を目指して～（中間まとめ）」等の資料に基づいて、次のような施策内容の報告がありました。

- ① 日体協は、都道府県体協および国と連携し、本会組織内組織である総合型地域スポーツクラブ全国協議会（以下「SC全国ネットワーク」という。）を基盤とした総合型クラブ登録制度を2021年度までに創設する。
- ② 日体協は、総合型クラブ登録制度の創設に向けた取組に合わせて、2022年度までに企業協賛制度の導入に向けた具体的な検討を行う。
- ③ 日体協は、都道府県体協や国と連携し、第2期スポーツ基本計画に記載のある「中間支援組織」を、地方公共団体（都道府県）の支援を受けた都道府県体協が主体となり、SC全国ネットワークに加入する都道府県総合型クラブ連絡協議会と連携した組織形態により、2021年度までに47都道府県に整備する。
- ④ 日体協は、①による総合型クラブ登録制度とスポーツ少年団登録制度との総合手続き等具体的な方法について、2022年度までには検討を開始することにより登録総合型クラブとスポーツ少年団の連携促進を図る。
- ⑤ 日体協は、国（中央省庁）に対し、当該省庁の施策に総合型クラブの位置づけが明記されるよう働きかけを行うとともに、国およびJSCに対して総合型クラブに関する助成制度等、必要な支援を講ずるよう働きかけを行う。

その他、「日体協としての総合型クラブ登録制度の検討状況について」、その経緯概要の分かる一覧表を基に簡単な説明がありました。各都道府県協議会の意見聴取の場を多く設定しているようでした。

意見交換の場では、「行政の基本的なスタンスは総合型クラブへの側面的支援になると思うが、行政の総合型クラブへの関わりについてより具体化を図るよう働きかけする必要があるのではないか。」とか、「スポーツ少年団の方は総合型クラブに対する認知度が低い。今後、スポーツ少年団や中学校部活動との連携・協働の在り方について具体的に検討する必要があるのではないか。」などの意見が出ました。それに対して事務局からは、「理想論だけで進めるのではなく、現実論を踏まえて具体化していくことが大切である。」という主旨の回答。また、「中間支援組織については第2期スポーツ基本計画では各都道府県体育協会が担うようになっているが、各都道府県の実情を踏まえて、どの組織が担うのが有効なのか検討を重ねてほしい。」という主旨の意見が出されました。それに対して事務局からは、「各都道府県の実情に応じて、行政との連携を大切にしたい総合型クラブが自立するための仕組みを構築していきたい。」という主旨の回答。このような意見交換を聞きながら、まだまだ総合型クラブの登録制度の具体化や中間支援組織の明確化について着地点が見えない状況だと思いました。（振興課長・亀田勝豊）

えひめ広域スポーツセンター情報誌 ECO-SPO3月号

発行元 公益財団法人愛媛県スポーツ振興事業団（えひめ広域スポーツセンター）

松山市上野町乙46 愛媛県総合運動公園内 TEL 089-963-2216 FAX 089-963-4104

Eメールアドレス info@eco-spo.com